

2021年12月4日(土)

関東学生アメリカンフットボール連盟広報誌

INTERCEPT

〈TODAY'S GAME〉

1部リーグBIG8 順位決定戦

第1試合 9:30K. O.
神奈川大学—日本体育大学

第2試合 12:00K. O.
青山学院大学—駒澤大学

第3試合 14:30K. O.
明治学院大学—国士舘大学

1部BIG8 Aブロック

	慶應大	神奈川	明学大	青学大	勝点	勝-負	順位	順列
慶應義塾大学	-	62〇〇	46〇7	47〇〇	9	3-0	1	1
神奈川大学	0●62	-	0●28	7●21	0	0-3	4	4
明治学院大学	7●46	28〇〇	-	38〇10	6	2-1	2	2
青山学院大学	0●47	21〇7	10●38	-	3	1-2	3	3

1部BIG8 Bブロック

	日体大	横国大	駒澤大	国士舘	勝点	勝-負	順位	順列
日本体育大学	-	34〇33	23●30	0●6	3	1-2	3	4
横浜国立大学	33●34	-	1〇〇	42〇26	6	2-1	1	1
駒澤大学	30〇23	0●1	-	3●7	3	1-2	3	3
国士舘大学	6〇〇	26●42	7〇3	-	6	2-1	1	2

【神奈川大学】『集大成』

オフェンス・ディフェンス・キッキング3つの力を最大限に発揮し、勝利を目指します。

《期待の若手紹介》

1年 DL #84 仲村 敬武(興南)・・・1年生の初心者ながら慶應大戦ではスタメン出場し、相手OLに屈することなく勝負し、タックルを1人で決めており、今回の試合では更に、彼のラッシュからのQBサックに注目したい。

《注目選手》

2年 RB #5 出野 杏介(神奈川県立岸根)・・・オフェンスチームで一番乗っている選手。これまでの走りに更に磨きをかけ、TDを量産する。

【日本体育大学】『Finish』

4年生にとって学生最後の試合となるこの順位決定戦。だが、変わらず日体らしく、泥臭く最後の笛が鳴るまで全員が全力で戦う。

《期待の若手紹介》

1年 WR #33 東海林 慶介(箕面自由学園)・・・次代を担う、未来のエースレシーバー候補。前節は要所で活躍しチームの勝利に貢献した。今回も大いに活躍し4年生を送り出してくれるに違いない。

《注目選手》

4年 DB #21 徳永 朗(駒場学園)・・・1年間、主将として言葉とプレーでチームを引っ張り戦ってきた。激しく熱いタックルが持ち味の彼のプレーをとくとご覧あれ。

【青山学院大学】『FULL』

このスローガンは「出し惜しみをせずに個人・チームの持っているものを全てぶつける」という意味があります。今のメンバーでできる最後の試合、一人一人が自分の役割を果たし、OFFENCE、DEFENSE、STAFF全員が一丸となって圧倒します。

《期待の若手紹介》

1年 DB #27 小林 航大(横浜市立桜丘)・・・類まれなる運動神経と周りも驚くほどの吸収力で急成長を遂げた1年生CB。怪我人が多いチーム状況の中でこの新人の存在はとて大きいものになっている。どんな動きにもついていき、レシーバーに決して自由を与えない彼のクイックネスに注目だ。

《注目選手》

4年 DL #1 伊藤 大生(滝川)・・・高い身体能力を武器にビッグプレーを量産しディフェンスを引っ張るDLリーダー。

【駒澤大学】『俺がやる』

1年間“俺がやる”というスローガンのもと、チーム一丸となり練習に励んできました。このチームで戦える最後の試合に悔いのないよう全力で挑み、必ず勝利を勝ち取ります。

《期待の若手紹介》

1年 WR #89 三嶋 倅輔(筑陽学園)・・・未経験ながらも努力家であり日々の練習に真摯に取り組みメキメキと成長している。今後の成長に期待。

《注目選手》

4年 WR #1 武田 信明(千葉市立千葉)・・・彼はこれまで主将として駒澤を率いて来た。ロングパスを成功させ、必ず駒澤勝利のための立役者になる。

【明治学院大学】『ALL OUT』

今シーズンやってきた全てを出し切り勝利を掴む。オフェンスは常にDominateし続け、ディフェンスは全てにおいてHardに、キックはHard&Finishでチームに勢いをつける。選手とスタッフ全員で試合の最初から最後まで最高の雰囲気を作り、今シーズン最高の試合をする。

《期待の若手紹介》

2年 WR #17 毎田 裕一(明治学院)・・・アメフト未経験ながら、センス溢れるキャッチで期待の若手選手。

《注目選手》

4年 DB #29 峰岸 知広(佼成学園)・・・キッキングのリーダーとして、またディフェンスの要として4年間の集大成をこの試合で見せる。大活躍を期待している。

【国士舘大学】『結実』

今年のスローガンである“初志貫徹”をこのゲームで完成する。目標には届かなかったが、最後の1プレーまで国士舘のフットボールを全力で貫き通す。その心を見ていただきたい。

《期待の若手紹介》

1年 WR #9 植田 斗馬(大森学園)・・・高校未経験ながら高い身体能力とチームで1番のスピードを武器に、DBを抜き去りビッグプレーを魅せるスーパールーキー。

《注目選手》

3年 WR #14 小河 蒼(知徳)・・・小柄ながら、スマートなコース取りとキャッチングが魅力のRHINOSエアアタックのエース。クイックネスにも優れており、ランアフターキャッチにも注目。